小（中）学校　第〇学年〇〇科学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　時　令和〇年〇月〇〇日（〇）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学校名　○○○立○○○学校

１　単元名

　　○○○○ （教科書会社：□□□□）

２　単元の指導計画（全○時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 毎時間のねらい | 評価観点 |
| １ |  |  |

３　授業展開　全〇時間中の第〇時

(1) 授業のねらい

～～を通して、○○について△△する。

(2) デジタル教科書を活用するねらい

|  |  |
| --- | --- |
| [ ]  拡大して細部まで確認する。[ ]  音声を聞く、動画を視聴する。[ ]  考えを共有・発表する。[ ]  習熟度に応じた学習を行う。 | [ ]  自分の考えを書き込む、整理する。[ ]  教育的ニーズに合わせて学習する（ルビの活用など）。[ ]  ＩＣＴ機器と連携する。 |
| [ ]  その他（　　　　　　　） |

(3) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | ○指導上の留意点　☆評価■子供がデジタル教科書を使用する場面 |
| 導入５分 | １　本時のねらいを確認する。　 なぜ○〇は～～なのか、資料を要約して結論をまとめよう。 | 〇■ |
| 展開 | ２　課題追究を行う。 | 〇学習者用端末の活用方法等は極力説明しない。 |
| 約10分 | **Ａ＜個別に追究する時間＞**活動内容：【例】自分が追究したい内容を、自分が選択した方法でまとめる。方法：【例】■デジタル教科書を使い、デジタルか紙のノートにまとめる。指導上の留意点：【例】適宜○○省ウェブページ等を参考資料として示す。【例】指示①「自分で方法を選んで、まとめましょう。」 |
| 約10分 | **Ｂ＜共有する時間＞**活動内容：【例】友達がまとめた内容を知る。方法：【例】学習支援ソフトの共有機能を活用する。指導上の留意点：【例】指示②「良いと思った内容や方法についてコメントしましょう。」　　　　　　 【例】発問①「内容や方法に似ている点や違う点はありましたか。」 |
| 約15分(20分) | **Ｃ＜深める時間＞**活動内容：【例】観点ごとに分類・整理をしてまとめる。方法：【例】学習支援ソフトの共同編集機能を活用する。指導上の留意点：【例】発問②「なぜ○○は～～なのか、根拠となるものは何ですか。」　　　　　　　 【例】指示③「話合いを踏まえて、今の結論をノートに書きましょう。」評価：【例】☆話し合ったことを整理して、結論をまとめている。（デジタルか紙のノート） |
| まとめ５分 | ３　本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 | 〇 |